

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年4月21日(2016.4.21)

【公表番号】特表2015-517012(P2015-517012A)

【公表日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【年通号数】公開・登録公報2015-039

【出願番号】特願2015-504641(P2015-504641)

【国際特許分類】

C 08 G	75/04	(2016.01)
C 08 L	81/02	(2006.01)
C 08 L	63/00	(2006.01)
C 08 K	3/26	(2006.01)
C 09 K	3/10	(2006.01)

【F I】

C 08 G	75/04	
C 08 L	81/02	
C 08 L	63/00	Z
C 08 K	3/26	
C 09 K	3/10	F
C 09 K	3/10	L
C 09 K	3/10	Z
C 09 K	3/10	Q

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月29日(2016.2.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

本開示の様々な修正及び変更は、本開示の範囲及び原理から逸脱することなく当業者には明白であり、また、本開示は、本明細書に記載した例示的な実施形態に不当に制限されるものではないと理解すべきである。本発明の実施態様の一部を以下の項目[1] - [26]に記載する。

[1]

ポリチオエーテルポリマーに放射線硬化可能である組成物であって、

a)少なくとも1つのジチオールモノマー、

b)少なくとも1つのジエンモノマー、

c)少なくとも3つのエテニル基を有する少なくとも1つの多官能性モノマー、及び

d)少なくとも1つの光開始剤、を含む、組成物。

[2]

e)少なくとも1つのエポキシ樹脂を更に含む、項目1に記載の組成物。

[3]

前記少なくとも1つの多官能性モノマーが3つのエテニル基を有する、項目1又は2のいずれかに記載の組成物。

[4]

ポリチオエーテルポリマーに放射線硬化可能である組成物であって、

f)少なくとも1つのジチオールモノマー、

g ) 少なくとも 1 つのジエンモノマー、

h ) 少なくとも 3 つのチオール基を有する少なくとも 1 つの多官能性モノマー、及び

i ) 少なくとも 1 つの光開始剤、を含む、組成物。

[ 5 ]

j ) 少なくとも 1 つのエポキシ樹脂を更に含む、項目 4 に記載の組成物。

[ 6 ]

前記少なくとも 1 つの多官能性モノマーが 3 つのチオール基を有する、項目 4 又は 5 のいずれかに記載の組成物。

[ 7 ]

ポリチオエーテルポリマーに放射線硬化可能である組成物であって、

k ) 少なくとも 1 つのチオール末端ポリチオエーテルポリマー、

l ) 少なくとも 3 つのエテニル基を有する少なくとも 1 つの多官能性モノマー、及び

m ) 少なくとも 1 つの光開始剤、を含む、組成物。

[ 8 ]

前記少なくとも 1 つのチオール末端ポリチオエーテルポリマーがペンダント基としてヒドロキシ基を含む、項目 7 に記載の組成物。

[ 9 ]

前記少なくとも 1 つの多官能性モノマーが 3 つのエテニル基を有する、項目 7 又は 8 のいずれかに記載の組成物。

[ 10 ]

n ) 少なくとも 1 つの充填剤を更に含む、項目 1 ~ 9 のいずれかに記載の組成物。

[ 11 ]

o ) 少なくとも 1 つのナノ粒子充填剤を更に含む、項目 1 ~ 10 のいずれかに記載の組成物。

[ 12 ]

p ) 炭酸カルシウムを更に含む、項目 1 ~ 11 のいずれかに記載の組成物。

[ 13 ]

q ) 炭酸カルシウムナノ粒子を更に含む、項目 1 ~ 12 のいずれかに記載の組成物。

[ 14 ]

硬化の際に視覚的に色が変化する、項目 1 ~ 13 のいずれかに記載の組成物。

[ 15 ]

化学線光源によって硬化可能である、項目 1 ~ 14 のいずれかに記載の組成物。

[ 16 ]

青色光線源によって硬化可能である、項目 1 ~ 15 のいずれかに記載の組成物。

[ 17 ]

UV 光線源によって硬化可能である、項目 1 ~ 16 のいずれかに記載の組成物。

[ 18 ]

項目 1 ~ 17 のいずれかに記載の組成物を含むシーラント。

[ 19 ]

項目 1 ~ 17 のいずれかに記載の組成物のいずれかの放射線硬化により得られる、ポリチオエーテルポリマー。

[ 20 ]

- 5 5 未満の Tg を有する、項目 19 に記載のポリチオエーテルポリマー。

[ 21 ]

自動車技術者協会 ( S A E ) 国際規格 A S 5 1 2 7 / 1 に従って測定した体積膨潤が 30 % 未満かつ重量増加が 20 % 未満であることを特徴とする、高いジェット燃料耐性を呈する、項目 19 又は 20 のいずれかに記載のポリチオエーテルポリマー。

[ 22 ]

項目 19 ~ 21 のいずれかに記載のポリチオエーテルポリマーを含む、シール。

[ 23 ]

透明である、項目18に記載のシーラント。

[24]

半透明である、項目18に記載のシーラント。

[25]

透明である、項目22に記載のシール。

[26]

半透明である、項目22に記載のシール。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリチオエーテルポリマーに放射線硬化可能である組成物であって、

- a) 少なくとも1つのジチオールモノマー、
- b) 少なくとも1つのジエンモノマー、
- c) 少なくとも3つのエテニル基を有する少なくとも1つの多官能性モノマー、及び
- d) 少なくとも1つの光開始剤、を含む、組成物。

【請求項2】

ポリチオエーテルポリマーに放射線硬化可能である組成物であって、

- f) 少なくとも1つのジチオールモノマー、
- g) 少なくとも1つのジエンモノマー、
- h) 少なくとも3つのチオール基を有する少なくとも1つの多官能性モノマー、及び
- i) 少なくとも1つの光開始剤、を含む、組成物。

【請求項3】

- j) 少なくとも1つのエボキシ樹脂を更に含む、請求項4に記載の組成物。

【請求項4】

ポリチオエーテルポリマーに放射線硬化可能である組成物であって、

- k) 少なくとも1つのチオール末端ポリチオエーテルポリマー、
- l) 少なくとも3つのエテニル基を有する少なくとも1つの多官能性モノマー、及び
- m) 少なくとも1つの光開始剤、を含む、組成物。